

## 歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和 5 年 4 月 26 日

独立行政法人水資源機構  
香川用水管理所長 南保 正俊

### 1. 目的

この歩掛参考見積依頼は、香川用水施設緊急対策事業で実施している工事の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

なお、この参考見積依頼は、工事等の指名（若しくは競争参加資格）をお約束するものではありません。

### 2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和 5・6 年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 当機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成 6 年 5 月 31 日付け 6 経契第 443 号）に基づき、吉野川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

### 3. 参考見積書の提出等

- (1) 参考見積書は作業項目毎に必要な作業員、資機材の人数等を記載して提出してください。記載様式には一次単価までしか記載していませんが、必要に応じて以降の詳細も記載願います。

なお、参考見積書の様式は、「別紙-2」を参考としてください。

- (2) 提出期間 令和 5 年 5 月 16 日（火）まで  
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日を除く毎日、午前 8 時 30 分から午後 5 時まで
- (3) 提出先

独立行政法人水資源機構 香川用水管理所長 宛

【担当】 四宮

〒766-0004 香川県仲多度郡琴平町榎井 891-2

TEL 0877-73-4225 FAX 0877-73-4226

- (4) 提出方法  
書面は持参、郵送又は FAX（社印があること）により提出をお願いします。

### 4. 参考見積内容

- (1) 基本条件  
香川用水緊急対策事業における既設コンクリート水路のポリマーセメントモルタル増厚に係る施工歩掛。

施工に必要な工事用道路等の仮設は、現場にあるものとします。詳細は別添図面を参照。

(香川県仲多度郡まんのう町地内)

(2) 作業項目、作業内容及び作業数量  
別紙-1 見積仕様書のとおりです。

(3) 工事費の構成と歩掛見積範囲

①本歩掛参考見積を適用する工事費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料(各編)」(以下、「基準書」という。)によるものとします。

②歩掛参考見積範囲は基準書で定義されている直接工事費のうち、上記(2)を実施する為に必要な作業員、資機材の人数等とします。

(4) 作業員の職種と定義

国土交通省が公表している「令和5年度公共工事設計労務単価」における「調査対象職種の定義・作業内容」によるものとします。

(5) 見積件名

見積の件名は「ポリマーセメントモルタル増厚による耐震補強作業」としてください。

## 5. 歩掛参考見積募集要領に対する質問

この歩掛参考見積募集要領に対する質問がある場合においては、次に基づき、書面(様式は自由)により提出してください。

(1)提出期間：令和5年5月8日(月)まで

持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日を除く毎日、午前8時30分から午後5時まで

(2)提出場所：3.(3)に同じ。

(3)提出方法：3.(4)に同じ。

## 6. 質問に対する回答

質問に対する回答は、次のとおり閲覧に供します。

(1)閲覧期間：質問提出期限の翌日から見積書提出期間終了まで

(2)閲覧方法：ホームページに掲載します。

## 7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

## 8. 貸与資料等

なし

## 9. ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

以 上

## 1. 基本条件

本見積は、ポリマーセメントモルタル増厚（PP工法）の施工に必要なはつり、削孔、下塗、鉄筋組立、増厚、用心メッシュ取付、養生、表面保護、材料費、機械等損料費、産廃費等を含めた一切とする。施工条件は以下のとおりとするが、詳細は別添参考図を参照。

### <施工条件>

- ・ 施工場所：香川県仲多度郡まんのう町地内
- ・ 施工目的：香川用水幹線水路耐震補強
- ・ 施工数量：約4.6m<sup>2</sup> 別添図参照
- ・ その他：施工対象となる水路は、排水後ドライ状態での施工となる（バイパス水路へ通水を切り替え）。施工ヤードについては別添参考図のとおり計画している。現地に乗入可能な機械等を選定し、見積に反映させること。なお、既設水路の鉄筋探査及びPhb工法（後施工プレート定着型せん断補強鉄筋）及び鋼製ストラット等の補強作業は別途実施することから、本見積には含まないこと。

## 2. 本作業

### 2-1 はつり工

1. 本現場では、水路断面確保の観点から、既設鉄筋コンクリートのかぶり代をはつり後、ポリマーセメントモルタル増厚を施工する計画である。はつり作業前には別途実施する鉄筋探査結果から既設コンクリートの配筋状況を把握するものとする。
2. 受注者は、増厚工の施工の支障とならないよう丁寧に既設コンクリートをはつり、設計図書に示す増厚断面を確保するものとする。はつり面の仕上げにあたっては、下塗工の施工に支障のないよう適切な処理を施すこと。
3. はつり作業において、既設配筋状況が設計図書と異なる場合や湧水、クラック等があった場合は監督員と協議するものとする。

### 2-2 削孔工

1. 補強鉄筋の施工に先立ち、設計図書に示す位置を削孔する。
2. 削孔位置は、別途実施する鉄筋探査結果から既設コンクリートの配筋状況を把握するものとし、削孔箇所が既設鉄筋と接触する場合は、事前に監督員と協議し、削孔位置を決定すること。
3. 別途施工するPhb工法（後施工プレート定着型せん断補強鉄筋）及び鋼製ストラット等の補強作業と連携し、手戻りのないよう施工するものとする。

### 2-3 増厚工

1. 補強鉄筋は既設コンクリートはつり面に接した状態で施工し、増厚厚さが設計図書に示す値より大きく（通水断面不足）にならないよう細心の注意を払うこと。  
なお、既設鉄筋の配筋状況により、これにより難しい場合は、その対応について監督員と協議するものとする。
2. ポリマーセメントモルタルの練混ぜには、原則、香川用水の流水を使用してはならない。
3. 香川用水幹線水路は、水道用水の原水を通水している重要な施設のため、ポリマーセメントモルタル増厚の施工時には、施工ヤード内等の排水やセメント系材料等が用水路内に混入しないよう十分注意しなければならない。

以 上

## 別紙-2 「歩掛参考見積様式の例」

## ポリマーセメントモルタル増厚工 (PP工法)

## 総括表

(1式あたり)

名称	規格等	単位	数量	単価	金額	備考 ※一例とする
土器川調節堰	底版部 phb併用	m2	12			単価表①
土器川放水工	底版部 phb併用	m2	14			単価表①-1
土器川放水工	側壁部	m2	19.5			単価表①-2
産廃費	コンクリート殻	t	5.13			単価表①-3
計						

## 単価表①

(12m2あたり)

名称	規格等	単位	数量	単価	金額	備考 ※一例とする
はつり工	t=48mm 日あたり〇〇m2	m2	12			単価表②
削孔工	φ26mmL=250mm 日あたり〇〇箇所	孔	38			単価表③
削孔工	φ26mmL=300mm 日あたり〇〇箇所	孔	19			単価表③-1
下塗工	t=1mm 日あたり〇〇m2	m2	12			単価表④
主筋組立工	SD345-D16 日あたり〇〇t	t	0.165			単価表⑤
配力筋組立工	SD345-D13 日あたり〇〇t	t	0.047			単価表⑥
増厚工	t=46mm 日あたり〇〇m2	m2	12			単価表⑦
用心メッシュ取付工	FFグリッド 日あたり〇〇m2	m2	12			単価表⑧
養生工	(必要日数を記載)	m2	12			単価表⑨
表面保護工	t=1mm 日あたり〇〇m2	m2	12			単価表⑩
特許使用料	(必要に応じて)	m2	12			
計						

## 単価表①-1

(14m2あたり)

名称	規格等	単位	数量	単価	金額	備考 ※一例とする
はつり工	t=48mm 日あたり〇〇m2	m2	14			単価表②
削孔工	φ26mmL=250mm 日あたり〇〇箇所	孔	88			単価表③
下塗工	t=1mm 日あたり〇〇m2	m2	14			単価表④
主筋組立工	SD345-D16 日あたり〇〇t	t	0.174			単価表⑤
配力筋組立工	SD345-D13 日あたり〇〇t	t	0.061			単価表⑥
増厚工	t=46mm 日あたり〇〇m2	m2	14			単価表⑦
用心メッシュ取付工	FFグリッド	m2	14			単価表⑧
養生工	(必要日数を記載)	m2	14			単価表⑨
表面保護工	t=1mm 日あたり〇〇m2	m2	14			単価表⑩
特許使用料	(必要に応じて)	m2	14			
計						

単価表①-2

(19.5m2あたり)

名称	規格等	単位	数量	単価	金額	備考 ※一例とする
はつり工	t=48mm 日あたり〇〇m2	m2	19.5			単価表②
削孔工	φ 26mmL=250mm 日あたり〇〇箇所	孔	39			単価表③
下塗工	t=1mm 日あたり〇〇m2	m2	19.5			単価表④
主筋組立工	SD345-D16 日あたり〇〇t	t	0.191			単価表⑤
配力筋組立工	SD345-D13 日あたり〇〇t	t	0.086			単価表⑥
増厚工	t=46mm 日あたり〇〇m2	m2	19.5			単価表⑦
用心メッシュ取付工	FFグリッド	m2	19.5			単価表⑧
養生工	(必要日数を記載)	m2	19.5			単価表⑨
表面保護工	t=1mm 日あたり〇〇m2	m2	19.5			単価表⑩
特許使用料	(必要に応じて)	m2	19.5			
計						

単価表②、⑨

(1m2あたり)

名称	規格等	単位	数量	単価	金額	備考 ※一例とする
〇〇(作業員等)*1		人				
諸雑費*3	〇〇の〇%	式				

単価表③

(1孔あたり)

名称	規格等	単位	数量	単価	金額	備考 ※一例とする
〇〇(作業員等)*1		人				
諸雑費*3	〇〇の〇%	式				

単価表④、⑦、⑧、⑩

(1m2あたり)

名称	規格等	単位	数量	単価	金額	備考 ※一例とする
〇〇(作業員等)*1		人				
機械経費・機械損料等*2		日				
材料費		kg(m2)				
燃料費等		L				
諸雑費*3	〇〇の〇%	式				

単価表⑤、⑥

(1tあたり)

名称	規格等	単位	数量	単価	金額	備考 ※一例とする
〇〇(作業員等)*1		人				
機械経費・機械損料等*2		日				
材料費(鉄筋等)		t				
燃料費等		L				
諸雑費*3	〇〇の〇%	式				

単価表①-3

(1tあたり)

名称	規格等	単位	数量	単価	金額	備考 ※一例とする
産廃処理費	コンクリート殻	t				

\*1 労務費は必要に応じた労務者を計上する。

\*2 機械経費、材料費等は必要に応じて計上する。

\*3 機械経費、材料費において諸雑費等を労務費の割合で示す場合の表示方法。

\*4 計上項目がない場合は、必要に応じて追加計上する。

※ 参考までに日当り施工量を記載していただきたくお願いします。

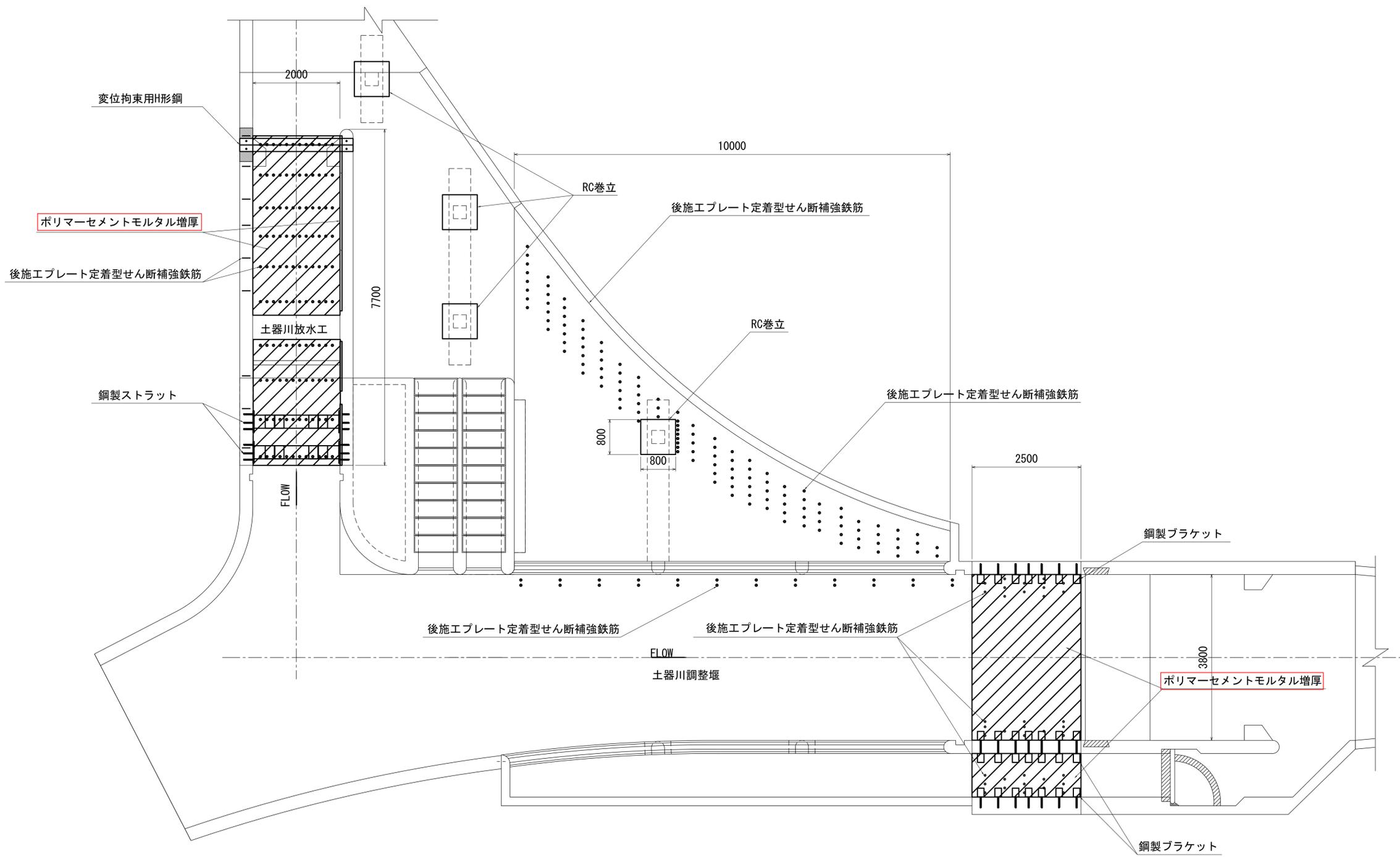
# 耐震補強工平面図 土器川調節堰、放水工

S=1:50

注意事項

2.単位  
測点、標高はm単位で示し、構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。

## 平面図



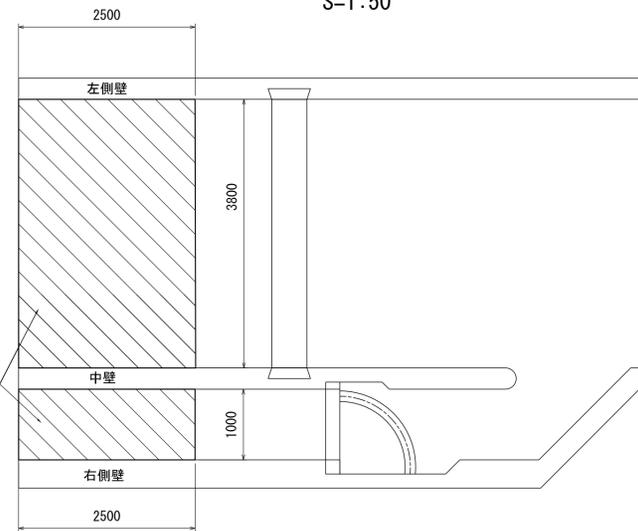
見積対象	
工事名	
名称	見積参考資料
登録番号	整理番号
独立行政法人 水資源機構 香川用水管理所	

# 耐震補強工構造図(7) 土器川調節堰

ポリマーセメントモルタル増厚 S=図示

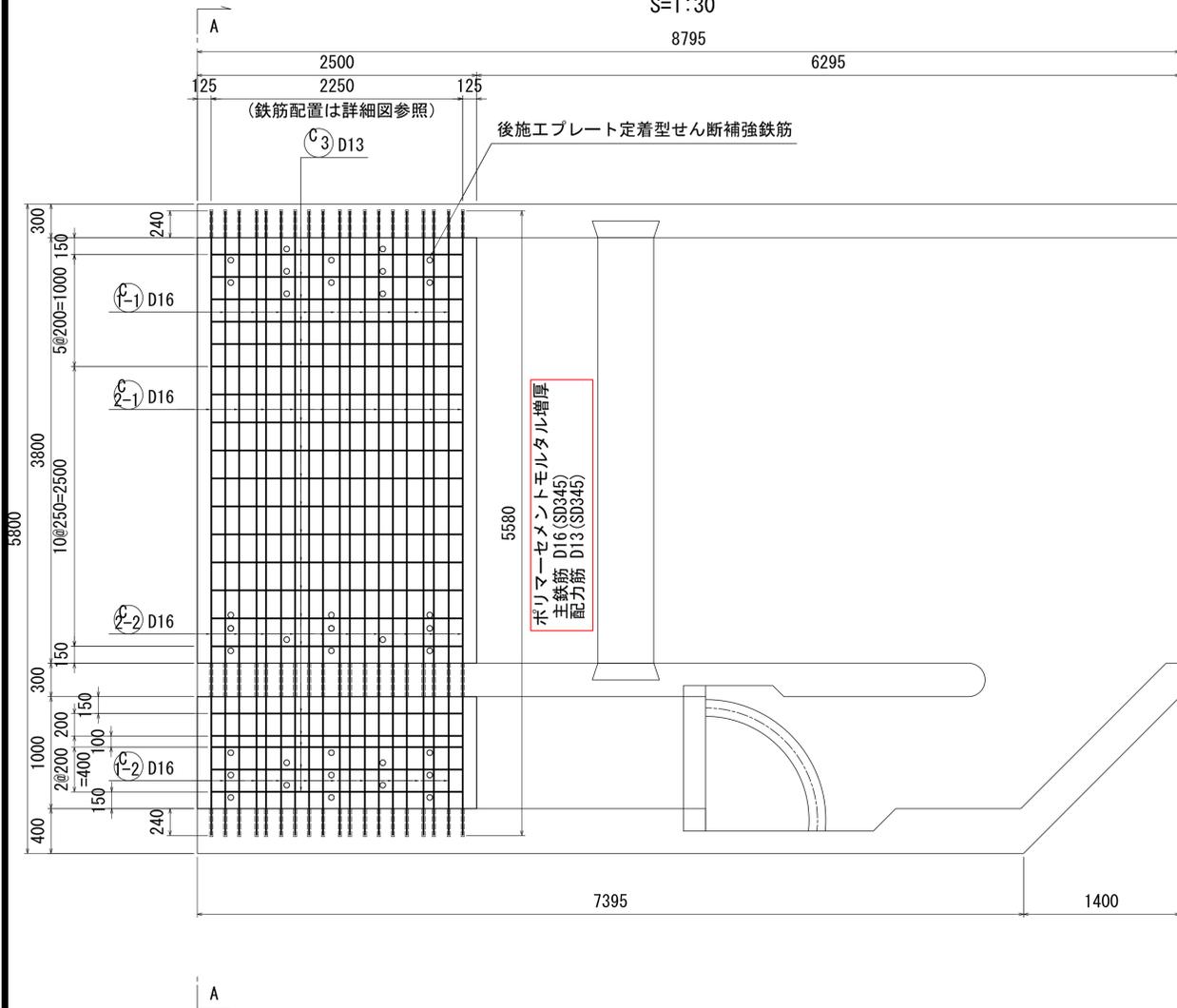
注意事項

増厚範囲図  
S=1:50

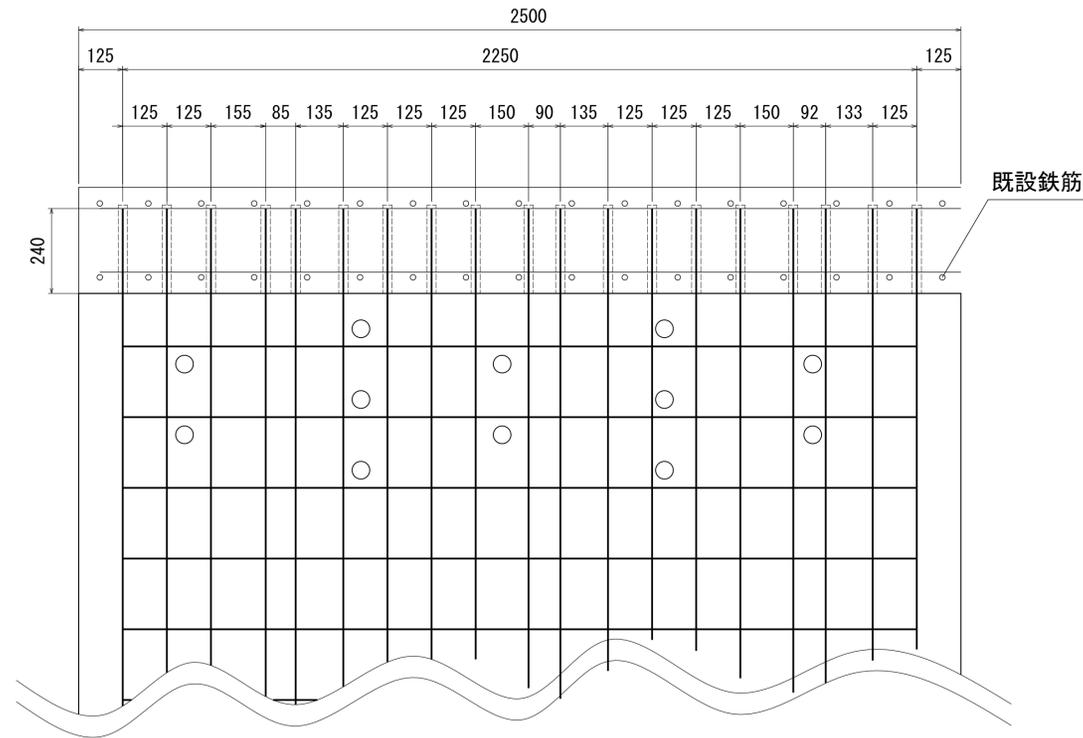


ポリマーセメントモルタル増厚 A=12.0m<sup>2</sup>  
主鉄筋 D16 (SD345)  
配力筋 D13 (SD345)

平面図  
S=1:30

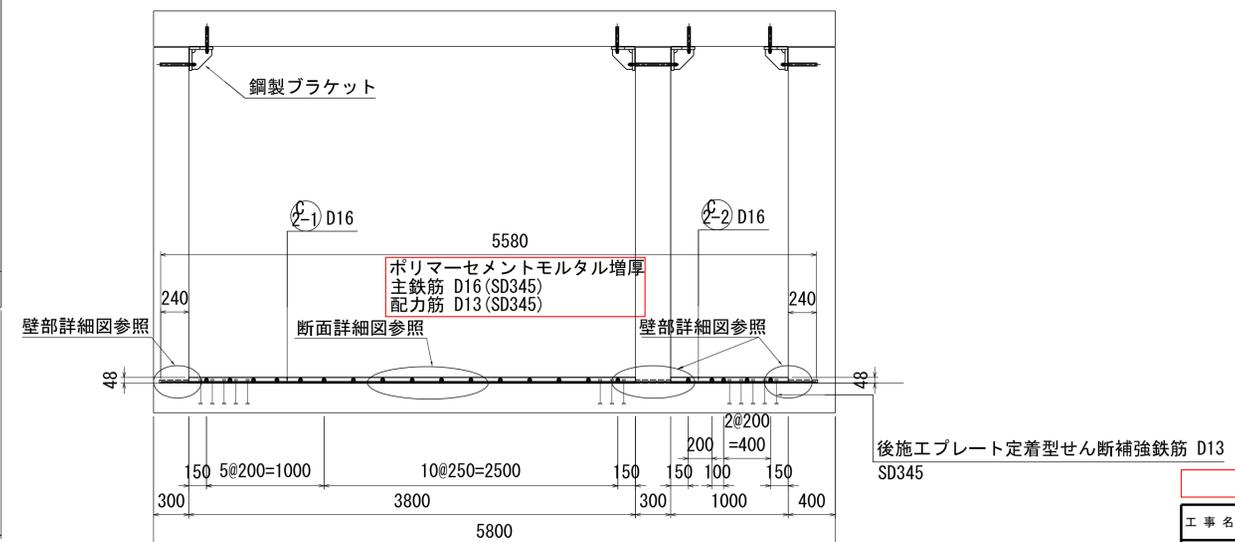


鉄筋配置詳細図  
S=1:10



2. 単位  
測点、標高はm単位で示し、  
構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。
3. 確認事項  
施工前に既設形状寸法を確認すること。
4. 施工について  
削孔位置は竣工図に基づき決定している。  
そのため、鉄筋探査等で既設鉄筋と干渉することが  
判明した場合は、監督員と協議の上、  
位置変更を行うこと。

A-A  
S=1:30



後施工プレート定着型せん断補強鉄筋 D13  
SD345

見積対象

工事名	
名称	見積参考資料
登録番号	整理番号
独立行政法人 水資源機構 香川用水管理所	

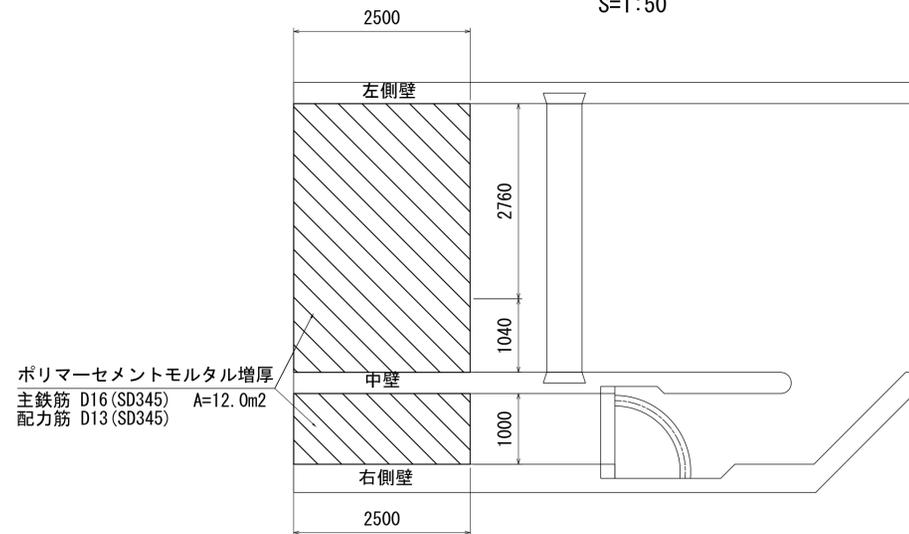
# 耐震補強工構造図(8) 土器川調節堰

ポリマーセメントモルタル増厚 S=図示

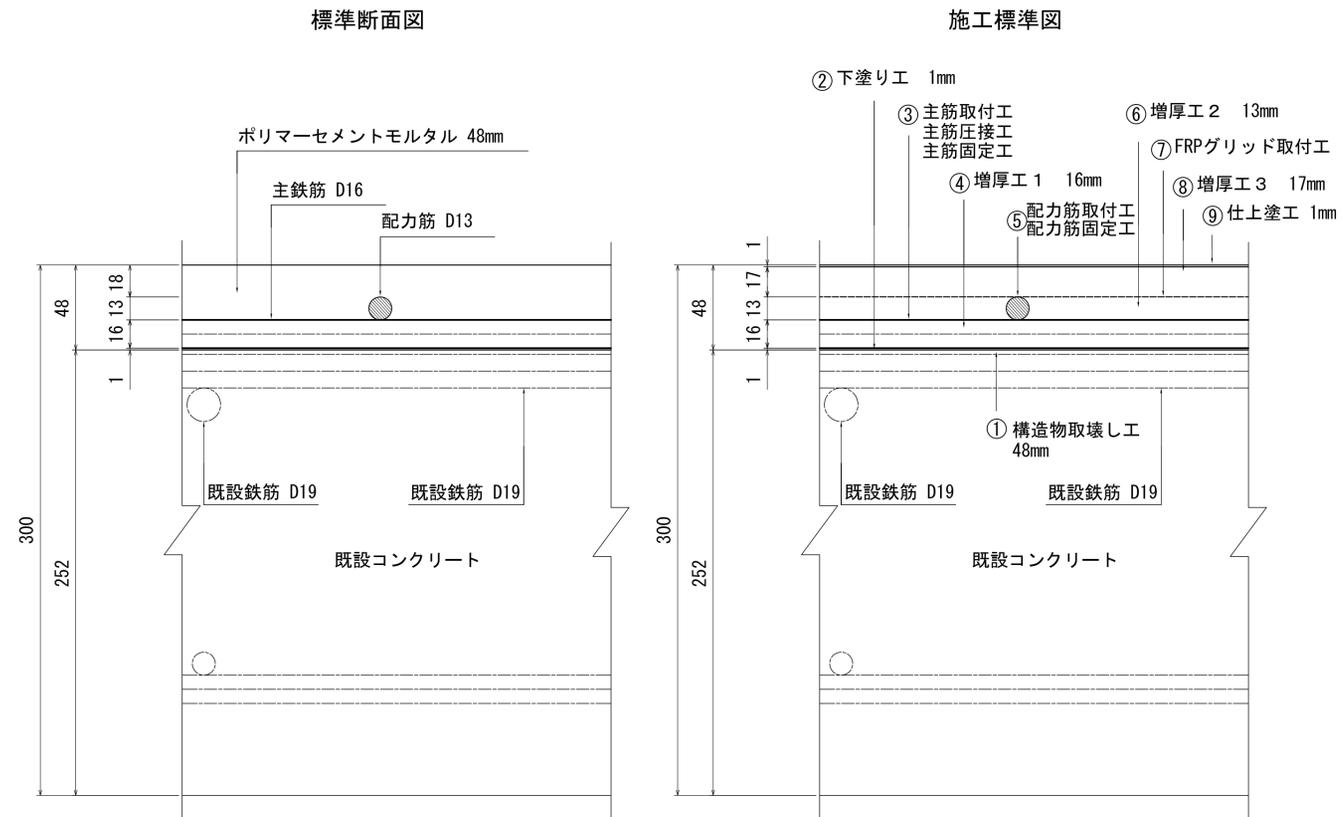
## 注意事項

2. 単位  
測点、標高はm単位で示し、  
構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。
3. 確認事項  
施工前に既設形状寸法を確認すること。
4. 増厚工について  
増厚工は補強鉄筋(配力筋)の外側に最小土かぶりの17mmを施工する。また、その外側に仕上塗工として吹き付け材(マグネライントイプI相当)を施工する。
5. 施工について  
削孔位置は竣工図に基づき決定している。  
そのため、鉄筋探査等で既設鉄筋と干渉することが判明した場合は、監督員と協議の上、  
位置変更を行うこと。

増厚範囲図  
S=1:50

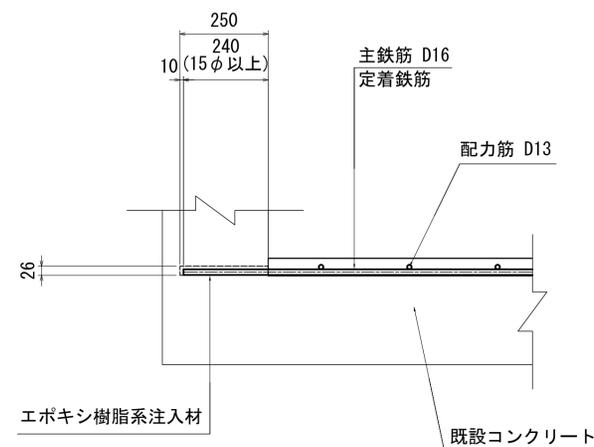


断面詳細図  
S=1:2

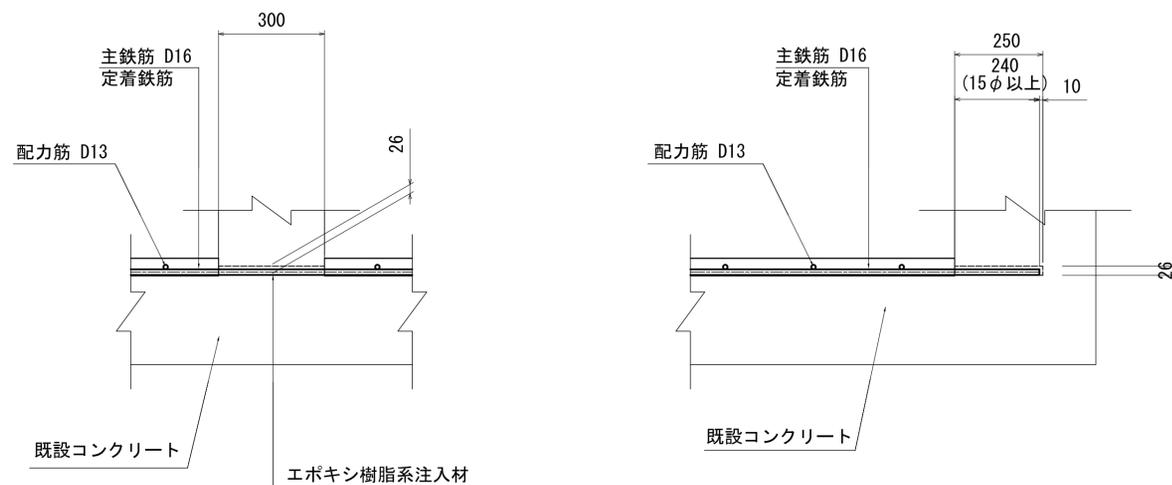


壁部詳細図  
S=1:10

左側壁側 (タイプA)



中壁、右側壁側 (タイプB)



工事名	
名称	見積参考資料
登録番号	整理番号
独立行政法人 水資源機構 香川用水管理所	

# 耐震補強工構造図(9) 土器川放水工

ポリマーセメントモルタル増厚 S=図示

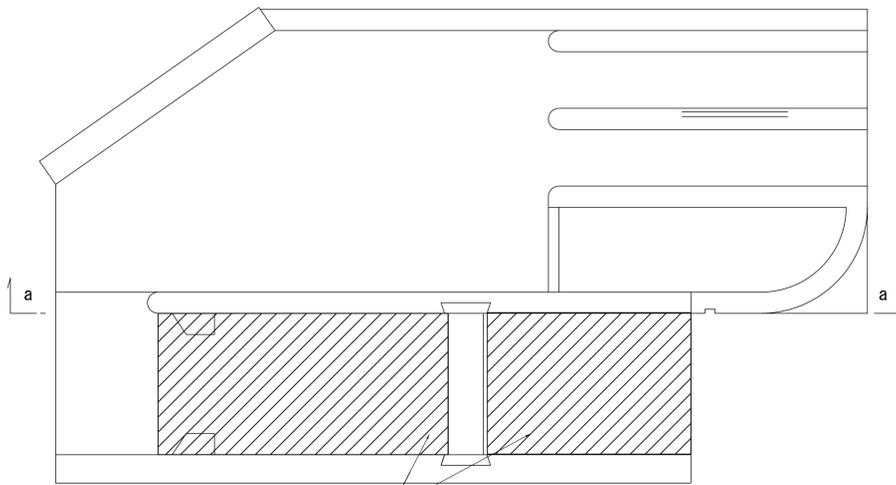
平面図

S=1:30

注意事項

増厚範囲図

S=1:50  
平面図

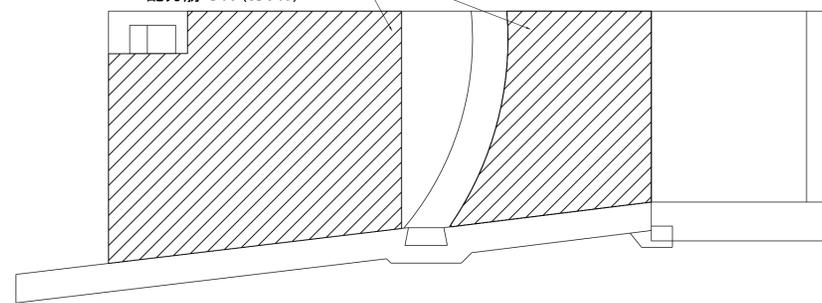


底版 (タイプC) A=14.0m<sup>2</sup>  
主鉄筋 D16 (SD345)  
配力筋 D13 (SD345)

側壁 (タイプD) A=19.5m<sup>2</sup>  
主鉄筋 D16 (SD345)  
配力筋 D13 (SD345)

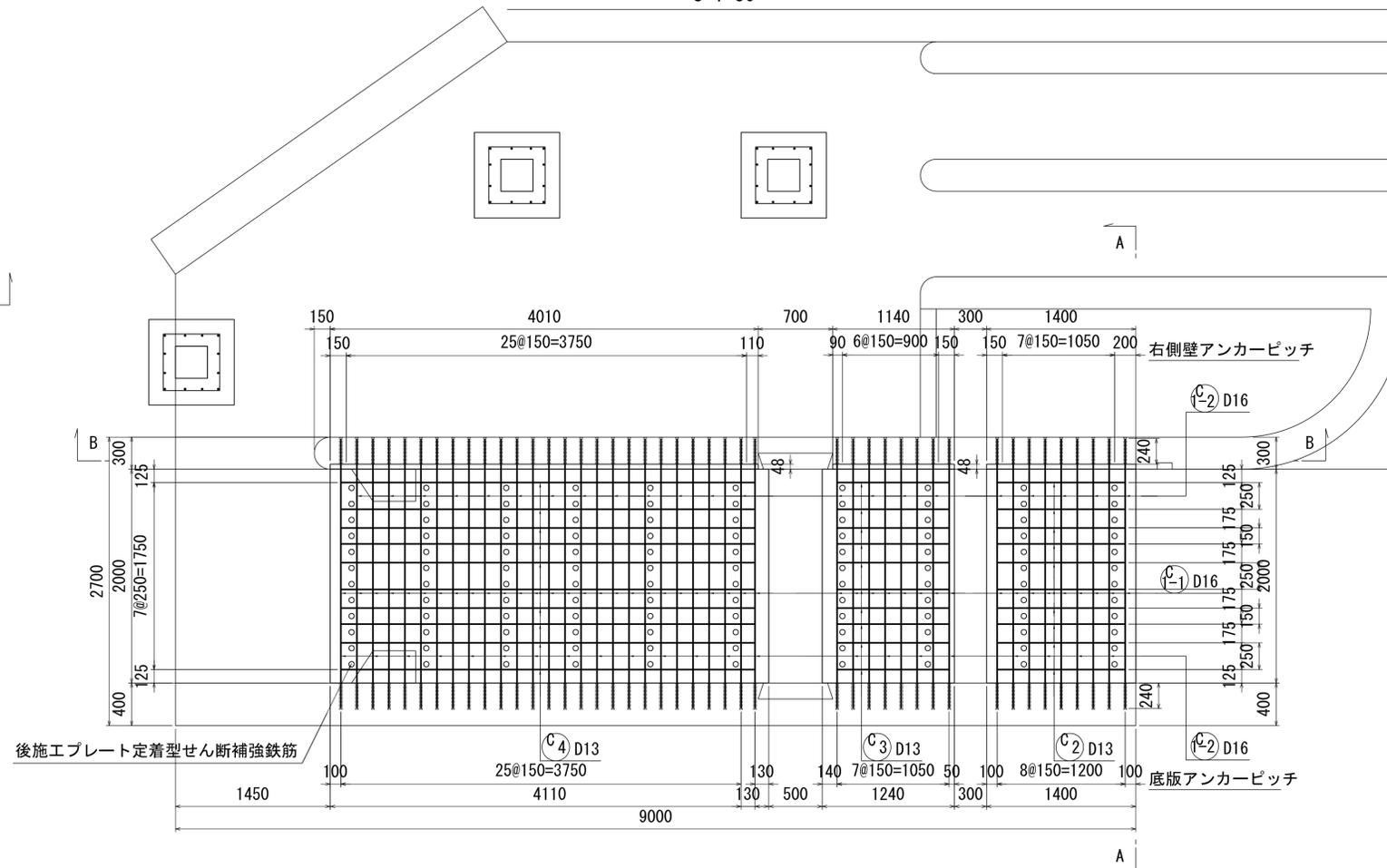
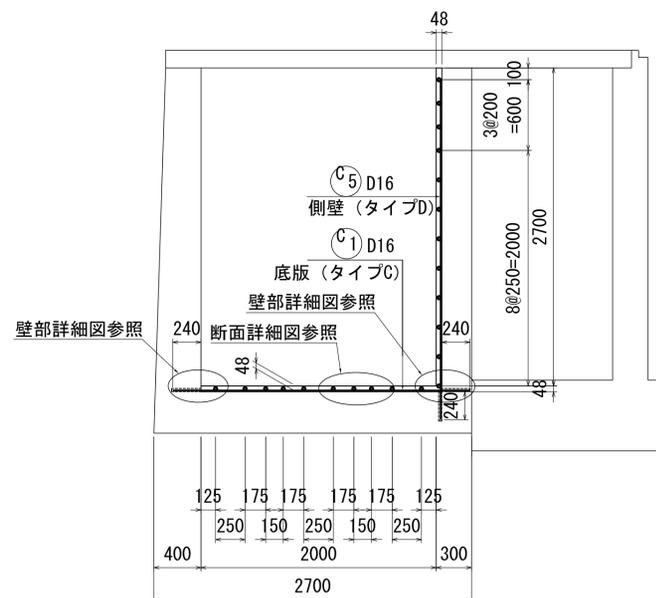
断面図

a - a



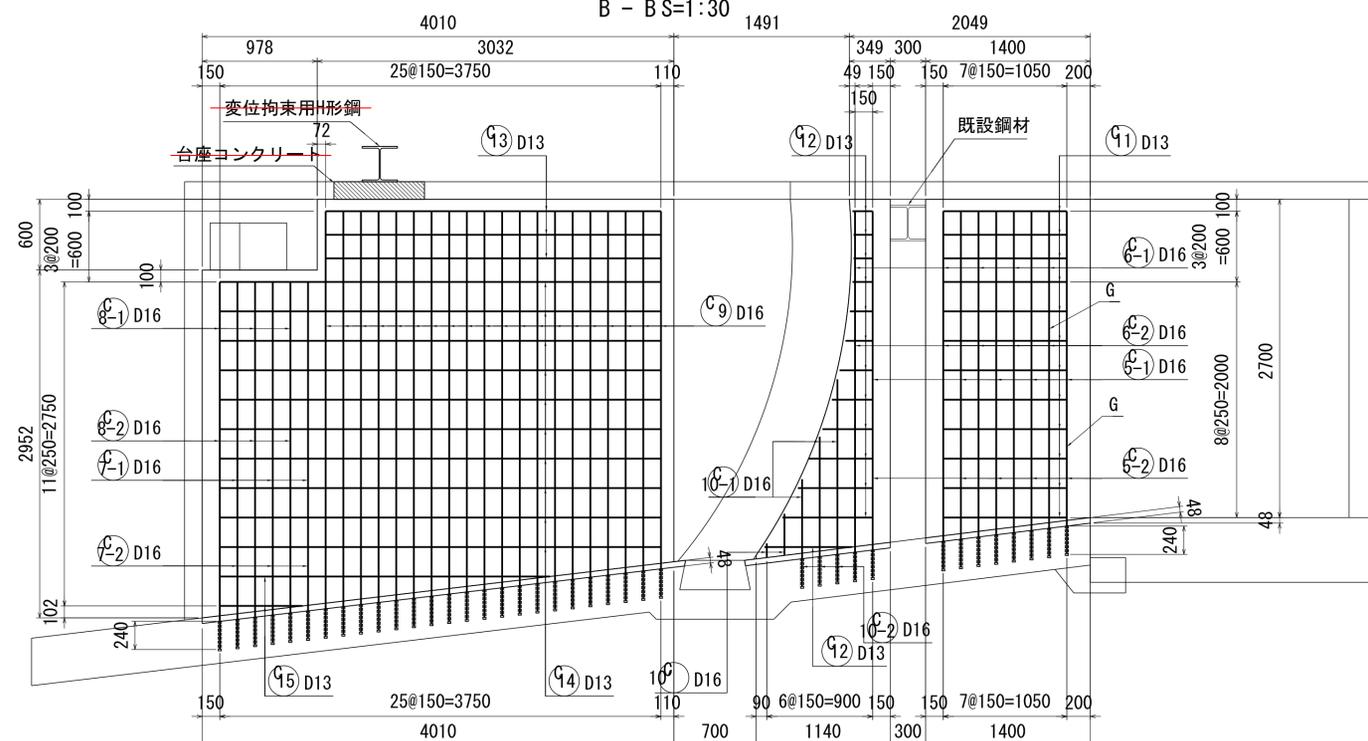
断面図

A - A S=1:30



断面図

B - B S=1:30



2. 単位  
測点、標高はm単位で示し、  
構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。
3. 確認事項  
施工前に既設形状寸法を確認すること。
4. 施工について  
削孔位置は竣工図に基づき決定している。  
そのため、鉄筋探査等で既設鉄筋と干渉することが  
判明した場合は、監督員と協議の上、  
位置変更を行うこと。

見積対象外

工事名	
名称	見積参考資料
登録番号	整理番号
独立行政法人 水資源機構 香川用水管理所	

# 耐震補強工構造図(10)土器川放水工

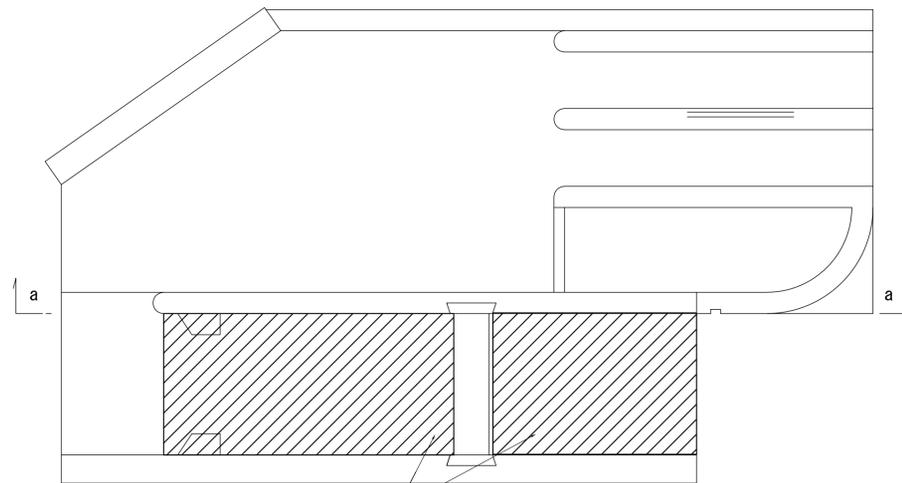
ポリマーセメントモルタル増厚 S=図示

注意事項

## 増厚範囲図

S=1:50

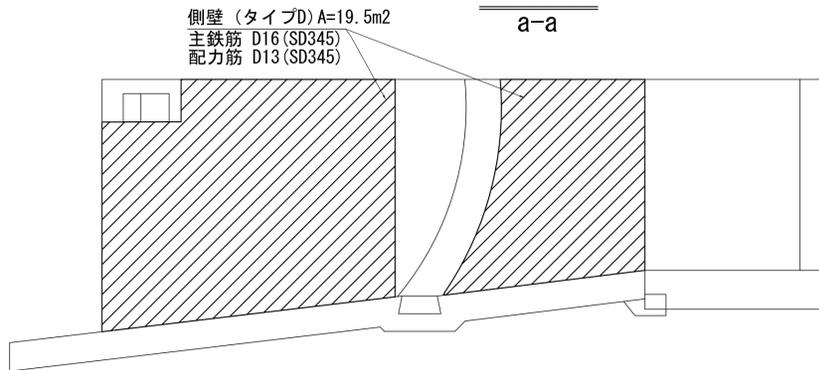
平面図



底版 (タイプC) A=14.0m2  
主鉄筋 D16 (SD345)  
配力筋 D13 (SD345)

## 断面図

a-a



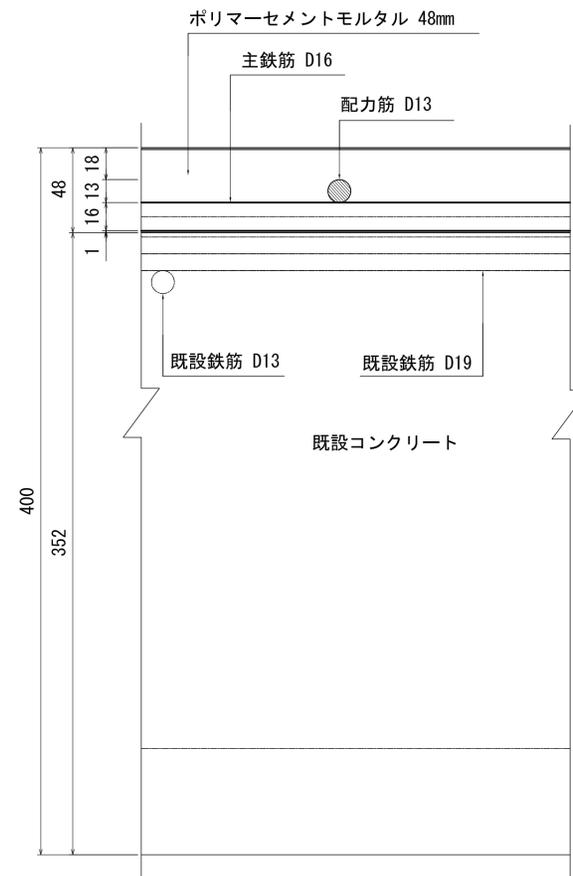
側壁 (タイプD) A=19.5m2  
主鉄筋 D16 (SD345)  
配力筋 D13 (SD345)

## 断面詳細図

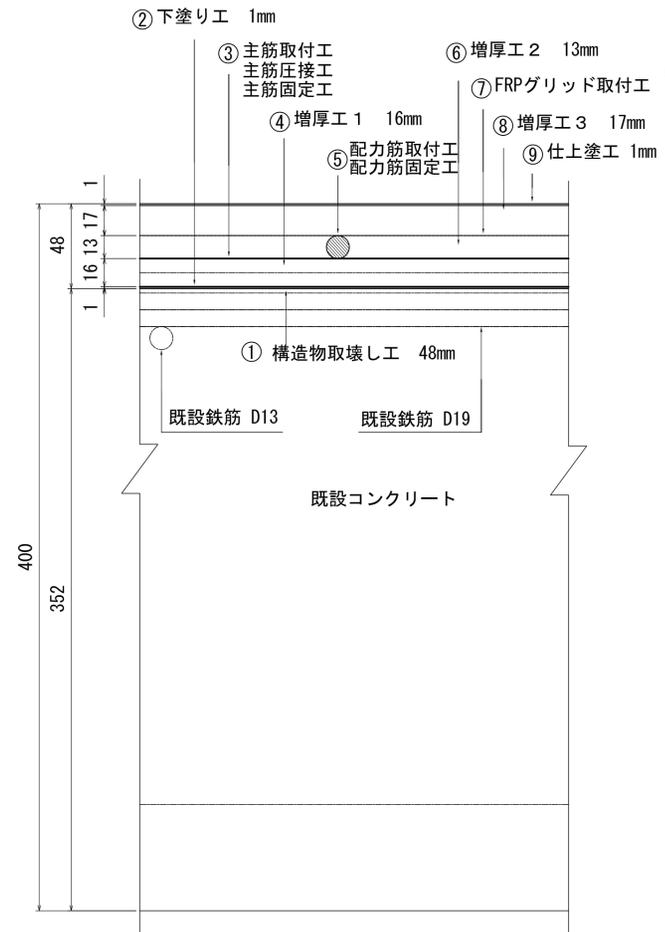
S=1:2

底版 (タイプC)

標準断面図



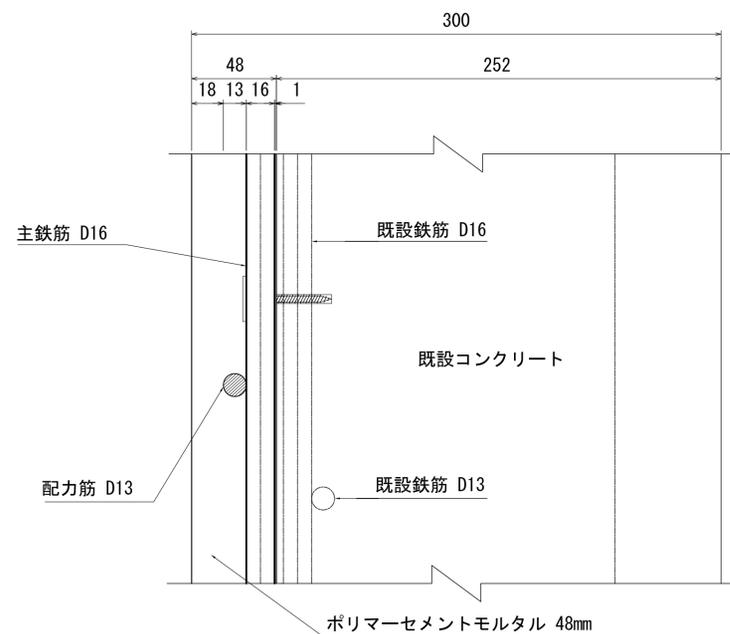
施工標準図



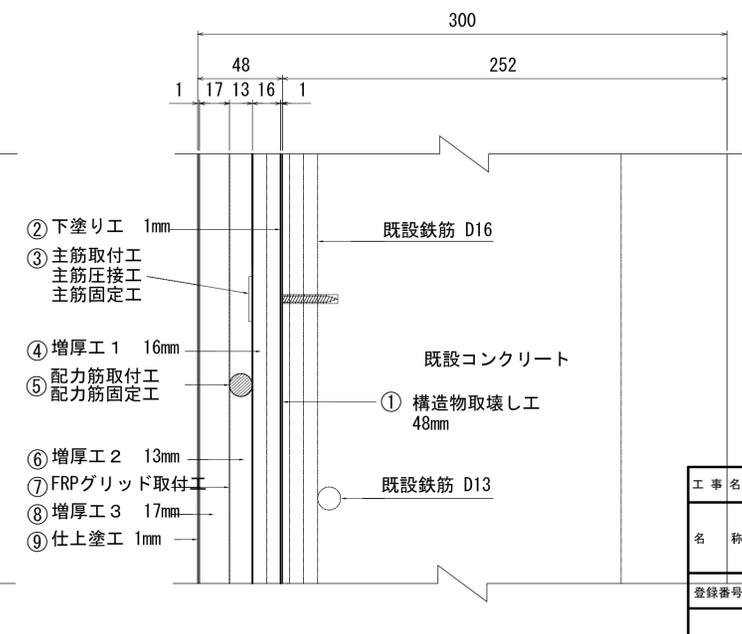
2. 単位  
測点、標高はm単位で示し、  
構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。
3. 確認事項  
施工前に既設形状寸法を確認すること。
4. 増厚工について  
増厚工は補強鉄筋(配力筋)の外側に最小主かぶりの17mmを施工する。また、その外側に仕上塗工として吹き付け材(マグネライタイプI相当)を施工する。
5. 施工について  
削孔位置は竣工図に基づき決定している。そのため、鉄筋探査等で既設鉄筋と干渉することが判明した場合は、監督員と協議の上、位置変更を行うこと。

側壁 (タイプD)

標準断面図



施工標準図



工事名	
名称	見積参考資料
登録番号	整理番号
独立行政法人 水資源機構 香川用水管理所	

# 耐震補強工構造図(11)土器川放水工

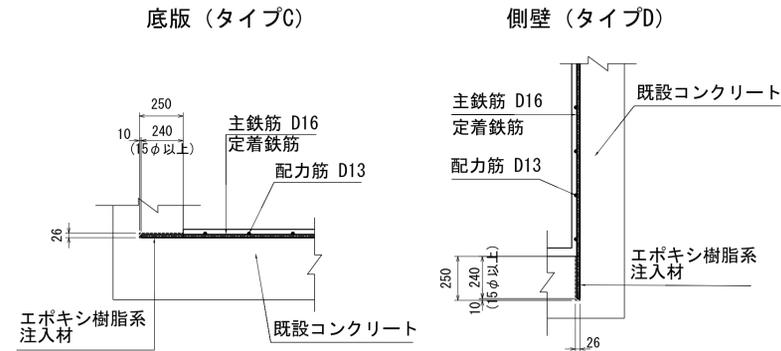
ポリマーセメントモルタル増厚 S=図示

## 注意事項

2. 単位  
測点、標高はm単位で示し、  
構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。
3. 確認事項  
施工前に既設形状寸法を確認すること。
4. 施工について  
剛孔位置は竣工図に基づき決定している。  
そのため、鉄筋探査等で既設鉄筋と干渉することが  
判明した場合は、監督員と協議の上、  
位置変更を行うこと。

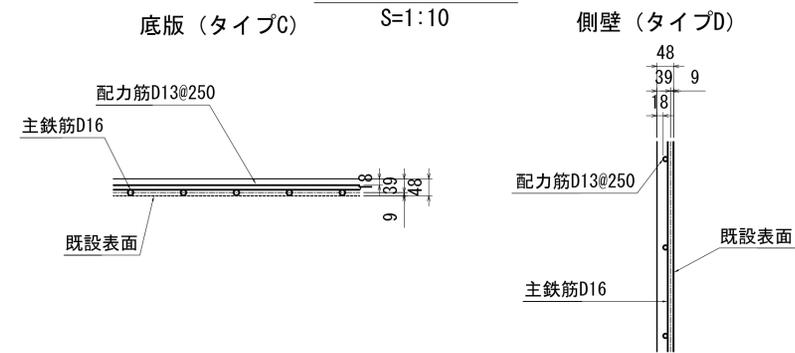
### 鉄筋位置・アンカー詳細図

S=1:20



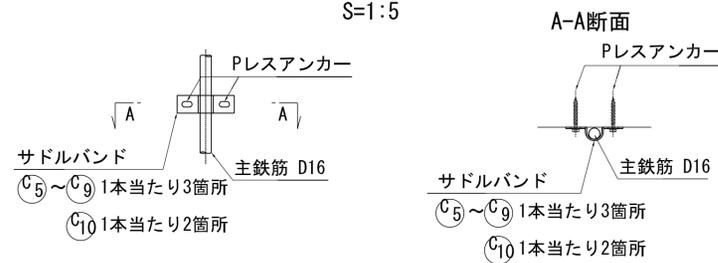
### かぶり詳細図

S=1:10



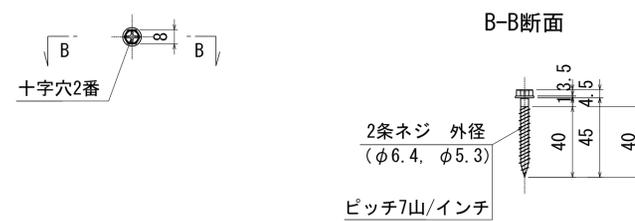
### 鉄筋固定部詳細図

S=1:5



### プレスアンカー詳細図

S=1:2

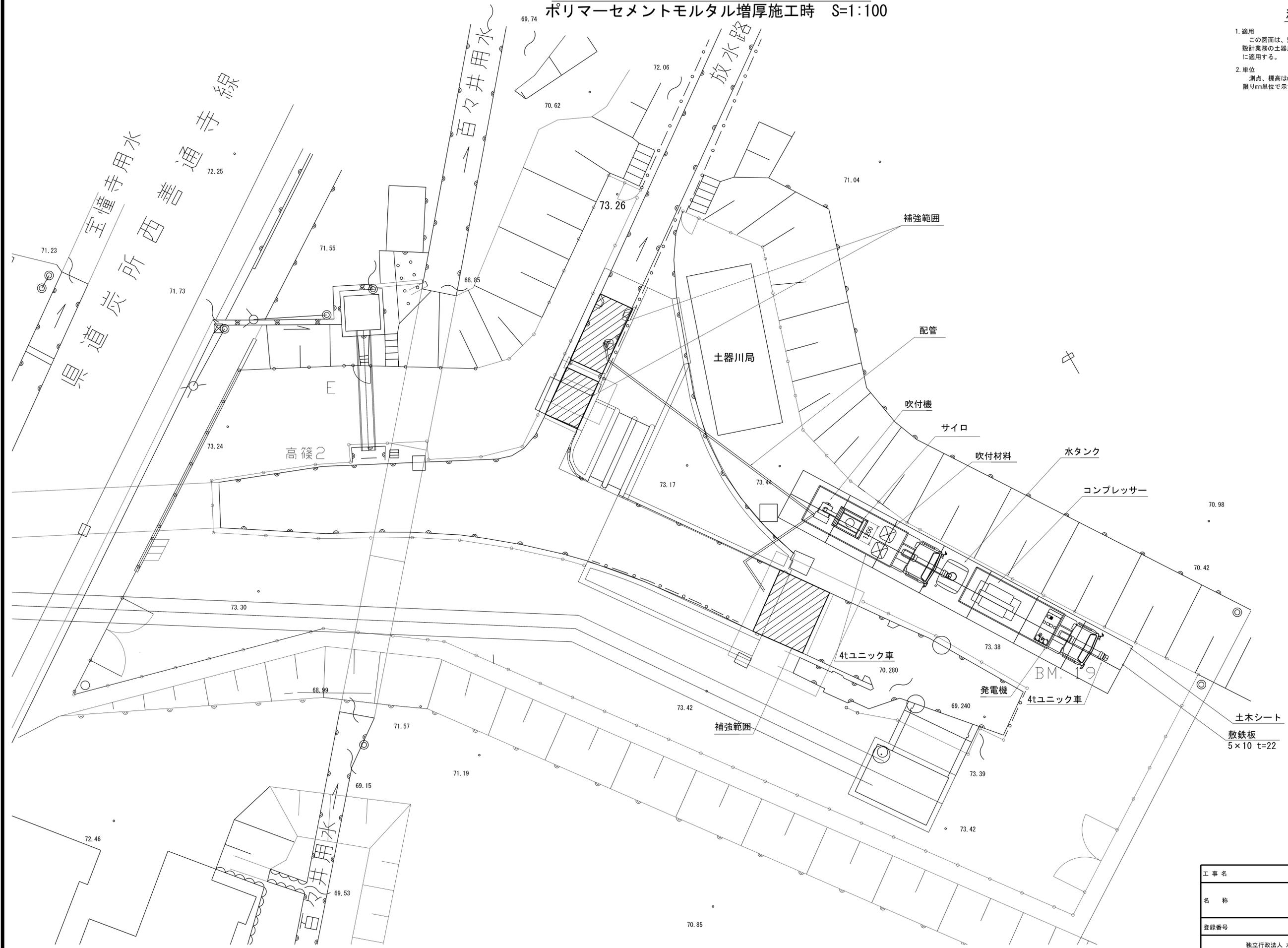


工事名	
名称	見積参考資料
登録番号	整理番号
独立行政法人 水資源機構 香川用水管理所	

土器川調整堰、放水工 施工要領図 (3)  
 ポリマーセメントモルタル増厚施工時 S=1:100

注意事項

- 適用  
 この図面は、緊急対策長野第3開水路外耐震補強実施設計業務の土器川調整堰、放水工 施工要領図 (3) に適用する。
- 単位  
 測点、標高はm単位で示し、構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。



工事名		
名称	見積参考資料	
登録番号		整理番号
独立行政法人 水資源機構 香川用水管理所		

(参考)

現況 全景 (上空)

